

ウッディチキン／仙台例会

「例会レポート 115」

日 程	2016年5月11日(水)
会 場	『(株)ガモウ 仙台スタジオ』 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-5-23GA ビル5F TEL022-227-3141
参加者数	約41名（内県外21名）
講演会内容	PM19:00～20:30 ・ウッディチキン仙台支部部長挨拶 ・ウッディチキン伊藤豊代表の話 ・手倉森 浩様 講演
親睦会	PM21:00～



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

<http://woodychicken.com>

info@woodychicken.com

雨上がりのさわやかな気候といっても気温 15℃とちょっと肌寒い仙台の街に
総勢 41 名のメンバーが集まりました。

司会進行役は、ミュー&キュービックの尾形美佳さんと遠藤真由香さんの 2 名で
あたたかい中にちょっと緊張感があるなんともいい感じで進んでいきました。

受付では、手作りのあったか〜い名札をいただきました〜



その 1

ウッディチキン仙台支部リーダー ミュー&キュービック代表 板橋和朗さんによる挨拶
昨年は、財布を落として皆さんに迷惑をかけたので・・・(笑)



その 2

ウッディチキン代表 伊藤さんからの挨拶 & 現状報告

・熊本地震について

今までの阪神大震災や東北の地震などの経験から 2 日後から動くことができた。

3 つの大きな地震の経験が大きな気づきや学びを与えています。

これからも今までの経験を生かして、ウッディチキンのネットワークで迅速に
対応出来るようにしていこう！

今後の支援について、6 月 4 日に久保先生と現地に入り熊本メンバーの方と話し合いの場を作り
募金の活用法など話し合います。

よって、メールでも報告したように 5 月末に一度募金を集めますのでよろしくお願いします。

その3

講演「東日本大震災による被災地域で子供達にサッカー指導を通しての復興支援を行って来て被災地の真実と課題について。」

日本サッカー協会ナショナルトレセンチーフ 手倉森浩さん

プロフィール

1967年11月生まれ

青森県三戸郡五戸町出身

日本サッカー協会公認S級ライセンス保持

経歴

- * モンテディオ山形ヘッドコーチ、
- * ベガルタ仙台ヘッドコーチ
- * 日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ復興支援担当

現在 日本サッカー協会ナショナルトレセンチーフ



あの U-23 日本代表の手倉森誠監督の弟さんです。

そっくりでびっくりしました！

それはそのはず、双子です。実は、あの有名な漫画の「キャプテン翼」に登場している立花兄弟のモデルになったのが手倉森兄弟だったそうで、プロになってから高橋陽一先生から伝えてもらったらしいです。

すごいですね！「スカイラブハリケーン」やってたんですかね。。

講演内容は、東北地震後の2013年から2015年の3年間日本サッカー協会の復興支援特任コーチを務めた時にいろんな気づきや学びがあった事をお話していただきました。

現在は、ナショナルトレセン東北地域チーフコーチに就任して復興支援活動も継続して兼務しているそうです。

2013年に就任した時のスローガンは「共に寄り添う」で、練習環境を見ながら被災地の要望を聞いて回った。

そこで目の当たりにしたのが、地域ごとでの皆さんの気持ちの違いでした・・

早くサッカーをしたいという子供の気持ち。

まだサッカーどころじゃないと思う親の気持ち。

サッカーしたくても、グラウンドは仮設やがれきの山。

などなど・・

とにかくサッカーの練習を開始するタイミングが難しかった。

2013年は主に、グラウンドのがれき撤去が中心だった。土の中に入った鉄屑をとるのにかなりの時間がかかった。

それでも皆コツコツと作業をしていき、少しずつコミュニケーションが取れるようになった。そして少しずつ練習再開につながっていった。とにかくみんなの心に耳を傾け、「共に寄り添う」を形にしていった・・

2013年の活動～



2013年の活動

各地域訪問頻度(実績)

FA	地区	訪問回数	
岩手県	岩手沿岸地域	47	
	宮城県	仙南地区	32
		若林	13
		宮城野	24
		県北	13
福島県	石巻	24	
	県北	2	
	相双	4	
	県中郡山	6	
	県南白河	7	
	いわき	5	
会津	3		

(156)

2013



門脇中学校・瓦礫



2013

岩手県気仙町
(上長部グラウンド)



関上小学校・遺品



ポット苗
(相馬光陽)
(大船渡盛河川敷)



渡波地区／雄勝庁舎



(岩手県)

2013



大船渡三陸



岩手県山田町



岩手県大槌町

(宮城県)



釜スポーツ少年団



女川FC



南三陸FC

2013

福島県



福島復興フェスティバル



郡山トレセン(喜久田)



キリンスマイル(田村市)

2014 年ぐらいになると、だんだん笑顔が街に戻ってきた。

サッカーを楽しそうにしている子供たちの笑顔が、大人たちへと伝染していく・・・

子供の笑顔が各地域に明るい笑顔を取り戻すスターターだということを学ばせてもらった。

大地震を経験し、驚異の津波を見ていまだに忘れられない・・・

大切な人が目の前で津波にさらわれるのを見た・・・

助けられた人の気持ちと、助けることができなかつたと悔やんでいる人の気持ち・・・
みんなそれぞれ引きずっているものはあるし、まだまだ克服しないといけない問題は山ほどある。

笑顔、今まではあたりまえの光景だった。

今では、希望の源。

子供たちの笑顔が大人たちへと伝染していき、みんなの気持ちを豊かにしてくれる。

あの日を忘れない。2011. 3. 11

自然の怖さ。遺族の想い。危機管理の大切さ。

自分自身、担当させていただいた3年間で価値観が変わった。

3年前までは、自分の事しか考えていなかった。わがままで傲慢で、人の足を引っ張る。

東北の大地震で、気づきや学びをいただいた。

今では、インドのヒンズー教の

「心が変われば 態度が変わる 態度が変われば 行動が変わる

行動が変われば 習慣が変わる 習慣が変われば 人格が変わる

人格が変われば 運命が変わる 運命が変われば 人生が変わる」

この言葉が、よく理解できる。

これからもサッカーを通じて、子供たちに笑顔を！

頑張ろう東北！頑張ろう日本！

とても穏やかな表情で、あたたかいトークで感動しました。

子供たちの笑顔が、周りを明るくする。とても印象に残ってます。

手倉森さんの復興担当3年間のお話は、後の親睦会でも熱く語ってくれていました。

その3

親睦会

ほとんどの方が参加していました！

手倉森さんから、Jリーグや日本代表の裏話が聞けて楽しかったです！



ありがとうございました！

次回は、北海道でお会いしましょう！

乾杯は、高知のラグビーの種田さんでした！